

## 本時のねらい

- ・これからの日本の工業の発展について、自分の考えを表現している。
- ・これからの日本の工業の発展について、自分の考えを友だちと伝え合っている。

## 本時における 1 人 1 台端末の活用方法とそのねらい

- ・発表ノートに、活用する思考ツールとキーワードをまとめて用意しておくことで、スムーズに学習活動を行うことができる。
- ・文章で書かれた発表者の意見を児童全員のタブレットに映し出すことで、スクリーンだと細かくて読めない文字も全員が確認することができる。

## 活用した ICT 機器・デジタル教材・コンテンツ等

- ・スクリーン
- ・タブレット
- ・発表ノート (sky menu class)

## 本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT 活用のポイント・工夫
導入 (5分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○前時までの学習を振り返る。</li> <li>・キーワードを見ながら確認する。</li> <li>○本時のめあてを確認する。</li> <li>「これからの日本の工業の発展に、重要なことは何だろう」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童全員の画面にキーワードを映し出しながら説明することで、小さく書かれたキーワードでも一つ一つ確認することができる。</li> </ul>
展開 (35分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○授業で学んだキーワードを「貿易」「技術」「環境」に分類する。 (思考ツール:Yチャート)【写真1】</li> <li>・発表ノートに置かれたキーワード进行分类する。</li> <li>・教科書や資料集を読んで、他にも関係するキーワードがあれば自分で書き足す。</li> <li>○ペアで考えを交流する。【写真2】</li> <li>○自分がこれからの日本の工業の発展において重要だと思うことを「貿易」「技術」「環境」の中から1つ選び、キーワードを使って自分の考えを書く。【写真3】</li> <li>○ペアで交流する。</li> <li>○発表する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・キーワードが一つ一つカードとして動かせるので、整理する時間が短縮でき、集中して思考できる。</li> <li>・意見を書く際、使用するキーワードを前のスライドから持ってきて置いておくことで、机間指導の際に児童の意見を予測し、的確にアドバイスすることができる。</li> <li>・発表する児童の画面を児童全員の画面に映し出すことで、書かれた文章を読みながら意見を聞くことができ、理解が深まる。</li> </ul>
まとめ (5分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自分が選んだもの以外を選んだ友だちの意見を聞いて印象に残ったこと、納得したことを発表ノートに書く。</li> </ul>	

## 1 人 1 台端末を活用した活動の様子



写真1 キーワードを「貿易」「技術」「環境」に分類している場面



写真2 思考ツールをもとに、考えを交流している場面



写真3 キーワードを使って、自分の考えを書いている場面

## 児童生徒の反応や変容

本学級の児童の中には、自分の考えを持ち、文章に表現することが苦手な児童も多かった。しかし、思考ツールを使って自分の思考を「見える化」し、そこから自分の考えに合うものを焦点化することで、書き出しに困る児童が少なくなってきた。これまで、教員に声をかけられるまで進まないという事が多々見られたが、本単元では自信をもって書いていたように思う。また、自分の画面に友だちの意見や次の作業のスライドが映し出されるため、集中が途切れることなく説明を聞いて、何をしたらいいかわからないという児童もいなかった。

## 授業者の声～参考にしてほしいポイント～

思考ツールを使うことで、頭の中で散らばっていたキーワードの整理、分類ができる。また、その整理された思考ツールを活用することで、児童が書き出しに困らずに自分の意見をまとめられるようになるだけでなく、教員もアドバイスがしやすくなるのが分かった。また、同じ言葉を何度も書いたりしなくても、コピーして次に使えたり、間違えても戻ったり付け加えたりと、作業時間を大幅に短縮し、考える時間に費やせるため、授業の理解が深まりやすいくとも実感できた。